

議員氏名：大沼 英樹

議案番号：議案第70号

案件名：特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

討論内容：

私も、議案第70号に賛成の立場で討論をいたします。

質疑の内容では、野地議員と同様に、反省不足ということで反対したい気もありますが、私はこの減給を示しつつも、さらなる反省と対策を求め、賛成をするものです。

とにかく、どんな事故であれ、大小にかかわらず必ず行わなければならないのは、不祥事、事故の再発防止となりますけれども、過去2回の車検切れに続く自賠責保険切れという再発を犯している現町政には、再発にとどまらず、不祥事の完全撲滅に向けた取り組みが最重要課題だということを申し上げます。

今議会の質問では、様々意見をさせていただきました。また、その中では、副町長から反省や訂正などもいただき、真摯な対応をいただいたと感じているところです。がしかし、本日の質疑回答を聞くと、大きな問題と感じているとのことながら、全職員の全業務を再点検したという回答はなく、現在の取り組み方では不祥事撲滅には距離を感じます。問題の大きさにかかわらず、どんな不祥事やミスでも、発生したときには業務の根本の根本に立ち戻って精査をし、人事を含めた職員管理を再確認、または再編成すべきです。これは、今までの不祥事でも同様に行わなければならないことながら、十分に行われないから再発をしてきたんです。

今も町民の声、議員の声ということで、処分が甘いという声がありました。考査委員会の構成員は、役場内のみの人選で行われておりますから、この点から考えても、減給だけではなく、例えば降格などの人事についても今後の策として検討する必要があるかもしれません。

ですから、今回、正副町長が減給するからといって、不祥事の禊が済むわけではありません。減給が決定されたとしても、町を預かる特別職の立場として、今までの仕事量を倍に増やし、不祥事撲滅のため、心を鬼にして業務に向かう覚悟が必要です。もしそれでもまた不祥事が発生するようなら、無給での執務も覚悟の上で、徹底的に不祥事根絶の取り組みを行うよう要請をし、本議案に賛成をさせていただきます。